

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-442	
評価技術名称					連絡先				
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.				
真壁「1間 上下あき」裏棧あり					〒				
					電話		Fax		
概要	技術概要								
	構造用合板を横向きで用いて、1間の壁面を真壁の仕様で、横架材及び土台と面材が接合されていない補強工法。床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 1間の間に柱がない真壁に有効。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	18,792 円/kN	
設計見積り例					—				
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚 12mm 以上 横使い								
	釘 N50 @100 以下								
	間柱なし、四方受材(縦のみ)、継手受材、上下受材あり								
耐震性能									
評価仕様:真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
3.12kN/m		726kN/rad./m							
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.6$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.6 = 3.12$									
設計方法									
①柱接合部による低減				構造用合板 厚 12mm 以上					
取付部分が健全であること				釘 N50、CN50 @100mm 以下					
②劣化による低減				合板四周打ち					
取付部分が健全であること				四方受材(縦) 30×40mm 以上					
施工者指定				釘 N75 @150mm 以下					
特になし				または N90 @200mm 以下					
その他				継手受材 30×90mm 以上					
				釘 四方受材に対し 2-N75 斜め打ち					
				四方受材(縦)に対し、継手受材負け					
				上下受材 30×90mm 以上					
				柱に対し 2-N75 斜め打ち					